

古材文化

VOL. 92 2010

発行/特定非営利活動法人 古材文化の会(会長 永井規男)

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地

木の文化・森の文化の伝道師を育てる 「木材コーディネーター」認定事業

NPO法人サウンドウッズ

代表理事 安田哲也(やすだ・てつや)



「近くの山の木で家をつくる運動」の、見開き意見広告が新聞紙上に掲載されたのが2001年元旦。外国産木材に対して、「国内市場を取り戻せ!」と進められた国産材の消費拡大の10年は、今、節目にさしかかっています。

ここ数年日本では、中国をはじめアジアの新興国の木材需要の急激な増加が影響して、ロシアなどからの輸入量が激減し、国産材による合板が大量に製造されるようになりました。また国の戦略は、大規模生産工場を全国に点在させ、規格建築用材を大量に生産する仕組みを整えようとしています。国



森林見学ツアーで森の魅力・木材の魅力を参加者に伝えます。

産木材の供給量拡大は、国際的な資源の争奪戦と、量的解決を目指す国家戦略によって、あたかも解決に向かうかのように見えます。

しかし、日本の林業振興はそう簡単なものではありません。量産製材品や合板、チップ燃料といった低質木材の活用が押し進められる中、従来林業家が手間をかけてつくり上げてきた化粧性の高い建築用材などは、今の施策では無残に切り捨てられます。合板や規格化製材品の量的安定供給に引きずられ、高品質な原木までが、低質な原木同様取引される状況なのです。従来、高い付加価値の木材生産により、林業家に対して適切な利益還元が行われることで、次なる森づくり進められてきました。しかし、現在、規格化製材品や合板製造による原木の安値安定市場は、結果として森林全体の価値低下を招き、木の文化を担ってきた技術伝承としての側面もある林業経営を苦しめています。

NPO法人サウンドウッズは、志のある林業家と連携しながら、木材の価値を確実に消費者に伝え、日本の「森の文化」「木の文化」を受け継ぐ、市民参加の木材流通の仕掛けに取り組んでいます。

事業の一つには、森の価値・木の価値を伝える人材の育成「木材コーディネーター」認定事業に取り組んでいます。木材コーディネーターは、木材の品質や化粧性を見極めはもちろん、森林の公益機能を高める環境価値の普及などにも積極的に取り組みます。高品質に育てられてきた木材は、手入れに見合った価値を売り込み、一般材は用途に応じた



NPO所属の木材コーディネーター・能口秀一(のぐちしゅういち)

活用を提案します。結果、バランスの取れた持続的的林業経営による健全な森林育成を定着させることが目標です。

次なる10年、私たちの目標は、多様な価値を受け入れながら「森の文化」「木の文化」を取り戻すことにあります。

木造建築のプロフェッショナルである古材文化の会の皆様にも、木の文化を受け継ぐ森づくりの活動に、是非ともご支援ご協力いただけるとうれしく思います。

NPO法人サウンドウッズのホームページ
<http://www.soundwoods.net/>

CONTENTS

木の文化・森の文化の伝道師を育てる「木材コーディネーター」認定事業	1	部会活動報告/しごと蔵プロジェクト	4, 5
上記講座まもなく第2期受講者募集開始	2	さまざまにあそび、里山を元気に!	6
お知らせ 紀寺借家 期間限定カフェ	2	懐かしい顔と久しぶりの土の感触	6
歴史ある建物をつなく、所有者の想いに共感	3	地元業者の知恵を集め、町並み守る	7
イチ募金 CODE事務局からの活動報告	3	イベント案内/事務局だより	8